

薬害に関する資料調査等について

1. 予算関係

(1) 薬害に関する資料の調査・目録作成費

① 事業概要

薬害に関する資料を教育等に活用するとともに後世に伝えていくためには、どこにどのようなものがどの程度あるのか、実態を把握し、資料を整理する必要がある。

被害者団体等が保有する薬害に関する資料の名称、内容、保管場所等を調査し、目録を作成する。

② 予算額

平成26年度：11,971,000円

③ 事業内容等

- ・実態の把握のための調査
- ・被害者団体の事務所等の調査
- ・未整理書類等の分類・整理の補助
- ・目録作成

(2) 厚生労働科学研究費

① 研究概要

被害者やその家族の高齢化や文献等の関連資料の散逸が進んでいることから、貴重な資料や関係者の証言が失われてしまう可能性が高い。

被害者団体が所有している資料等の状況・実態について調査を行い、資料等を統一的・体系的に分類・整理・保管するための手法を検討し、それを実践する。資料等の亡失を防ぎ、今後、薬害に関する啓発や教育、研究等への効果的な利用、被害者等対策への検討材料として活用することができるようにする。

② 研究期間、予算額

平成25年度から2カ年、平成25年度：5,000,000円

平成26年度：3,500,000円

③ 研究者

法政大学大原社会問題研究所 准教授 金 慶南（キム ギョンナム）

④ 研究内容等

- ・資料等の実態調査（聞き取り調査・現地調査）
- ・統一的・体系的な整理・保管方法の検討
- ・統一的・体系的な整理・保管等のためのマニュアル（仮）作成
- ・マニュアル（仮）の被害者等への配布
- ※必要に応じてマニュアル（仮）の修正等の検討
- ・作業状況の確認・助言・指導

2. 進捗状況等

(1) 進捗状況

○平成25年8月24日(土)に第1回薬害資料調査のための会合を開催

- ・「薬害に関する資料の所在状況等に関するアンケート」(平成24年1~3月実施)に基づき、各団体から資料の状況を聴取。
- ・各団体の資料調査担当の窓口の確定
- ・法政大学大原社会問題研究所 金准教授による「資料保管の重要性及び方法等の基礎的な知識」の講義
- ・金准教授より、各団体へ実態調査への協力依頼

○平成25年度から2か年事業として、金慶南氏(法政大学大原社会問題研究所准教授)による研究事業を実施。

- ①平成25年度は、薬害被害者団体に対して調査を行い、資料等の保存状況を把握。
- ②平成26年度は、この調査結果も踏まえ、資料等の統一的・体系的な整理・保管方法(マニュアルの作成)を研究。

○平成26年8月24日(日)に第2回薬害資料調査のための会合を開催

- ・法政大学大原社会問題研究所 金准教授から、厚生労働科学研究費による25年度の研究結果について報告

(2) 今後の予定

○上記の調査研究結果を踏まえ、27年度については、作成したマニュアルを用いた資料整理の実証研究を実施し、各団体の資料の特性等に応じたマニュアルの調整の可否の検討や、資料の公開の条件付けのあり方に関する調査研究を行うことを検討。

○薬害被害者の証言を薬害再発防止に生かす観点から、証言映像の収録を行う。